

平成27年度  
事業計画書及び収支予算書

平成27年3月

社会福祉法人 大月町社会福祉協議会

## 平成 27 年度事業方針及び事業計画

### 目標

だれもがみんな、自分らしく生きるために共に支え合える地域づくり

### <基本方針>

昨今、社会経済環境の変化とともに、地域社会や家庭・家族のありようが大きく変わっています。地域に暮らす人びとの関係の希薄化や高齢者世帯の増加、核家族化の進行により、これまでの福祉制度では解決が難しい社会的課題が増加しています。

このような状況のなか、本会では、地域における福祉活動の指針となる「大月町地域福祉活動計画」を軸として、誰もが皆、住み慣れた地域で安心して暮らす事のできる地域福祉の実現に向け、住民主体の地域活動を支援していくと共に、質の高い福祉サービスの提供とさまざまな課題の解決のため、行政、地域住民、関係機関及び各種団体と協働して地域福祉を推進して参ります。

### <重点目標>

1. 地域福祉活動計画及び地域福祉計画に基づいて地域福祉活動の推進を図る
2. ふれあいのまちづくり事業の推進を図る
3. 介護保険法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律等の介護サービス等事業の充実を図る
4. 在宅介護者の介護負担の軽減と孤立予防の取り組みの推進を図る
5. ボランティアセンター機能の充実を図る

## <事業実施計画>

### 1. 地域福祉の推進

#### (1) 地域福祉活動計画に基づいた地域福祉活動の推進

地域毎の住民座談会を開催し、住民主体の活動計画づくりを進め、共に支え合える地域づくりをする

#### (2) ふれあいのまちづくり事業の推進

(イ) 総合相談所の設置

(ロ) 福祉大会の開催

(ハ) ふれあい弁当配食サービス

(70歳以上の独居老人／1食200円)

(ニ) 愛の一声ふれあい郵便事業（ネットワーク活動）

(ホ) 緊急カード・ふれあい安心カードの整備及び個別配布

(ヘ) 小・中・高生及び一般参加のボランティア体験学習の開催

(ト) 各団体と協働の見守りネットワーク活動

(チ) 高齢者輪投げ大会の開催

(リ) 老人単科大学・芸能大会の開催

(ヌ) 出前ミニデイサービス「ふれあいサロン」の活動強化

#### (3) 福祉サービス利用支援の推進

(イ) 無料総合相談の運営強化

(ロ) 生活福祉資金貸付及び償還指導

(ハ) 日常生活自立支援事業の推進

#### (4) 福祉活動推進校の育成支援

町社協指定推進校

大月小学校・大月中学校（各1校）

※ 町内小・中学校児童生徒の「福祉のこころ」を育てる

(5) 各種福祉関係機関・団体等との連絡調整及び活動育成

- (イ) 民生児童委員協議会
- (ロ) 老人クラブ連合会
- (ハ) 心身障害者協議会
- (ニ) 福祉委員協議会
- (ホ) 民生委員 OB 会
- (ヘ) ボランティア連絡協議会
- (ト) シルバー介護士会
- (チ) 大月町連合婦人会

(6) あったかふれあいセンター事業「ほっとセンター」の運営

(7) 生活困窮者自立相談支援事業の推進

(8) なんでも屋紹介事業

「暮らしの応援団」の活用促進

(9) 在宅介護者の負担軽減を図る

- (イ) 認知症家族の会「いきいき家族の会」を開催
- (ロ) 在宅介護者の生きがいつくり

(10) 孤立予防の取り組みの推進

- (イ) 小地域の支え合い見守りネットワークの構築

(11) その他

- (イ) 共同募金運動の推進
- (ロ) 日赤社資募集の推進

2. 在宅福祉サービスの推進

(1) 介護保険及び介護予防事業の推進

- (イ) 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業

- (ロ) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業
- (ハ) 通所介護事業・介護予防通所介護事業
- (ニ) 居宅介護支援事業
- (ホ) 認知症高齢者共同生活介護事業・介護予防認知症高齢者共同生活介護事業（グループホーム）

(2) 住宅型有料老人ホームの運営

(3) 障害福祉サービス事業の推進

- (イ) 居宅介護事業
- (ロ) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

(4) 在宅生活支援の推進

- (イ) 生活管理指導員の派遣（受託）

(5) 障害者福祉の推進

- (イ) 在宅障害者野外出前ふれあいサロン「七転び八起の会」
- (ロ) 障害者協議会育成支援
- (ハ) 福祉車両の貸出

3. ボランティアセンター機能の充実

- (1) 災害時ボランティアセンター機能の充実
- (2) ボランティアの育成

<組織経営管理体制の整備>

1. 会務の運営

- (1) 理事会・評議員会の運営

2. 経営管理体制の構築

- (1) 事業評価の実施

3. 財務管理と運営
  - (1) 自主財源の確保と有効活用
  - (2) 適正な財務管理
  
4. 組織基盤の整理
  - (1) 職員の人事管理・労務管理の適正化
  - (2) 人材育成・研修の充実
  
5. 指定管理業務の受託
  - (1) 指定管理施設の適正な管理運営
  
6. 情報発信
  - (1) 広報活動の充実
  - (2) 感想文集等の発行
  - (3) ホームページ
  
7. 福祉人材養成支援
  - (1) 各種実習の受け入れ及び協力

<その他>

1. ショートステイ事業（特老）へ協力
  
2. 地域包括支援センター・大月病院との連携

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

大月町指定訪問介護事業所（含介護予防事業）

## 平成 27 年度 事業計画

### 基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気！！で  
一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当訪問介護事業所は介護サービス計画書により、要介護状態となった利用者が可能な限り住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

また、予防訪問介護事業では、利用者の要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態となることを予防する事を基本に、利用者の生活、人生を尊重しできる限り自立した生活を送れるよう支援します。

#### 1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

#### 2. サービス内容

訪問介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日：年中無休

営業時間：午前 8 時～午後 6 時

※ 介護支援専門員の作成する居宅介護サービス計画により、営業時間外においてもサービスを提供させていただきます。

※ 携帯電話にて、24 時間常時連絡が可能な体制としています。

#### 3. 職員の職種、配置数

管理者：1 名

サービス提供責任者：4 名

パート訪問介護職員：25 名

#### 4. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

#### 平成27年度ヘルパー研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4月	介護職員の接遇について	接遇やマナーのレベルアップを図り、利用者や家族の満足度を高める。	提供責任者
5月	認知症について	認知症の知識と認知症のケアを正しく理解する。	要請
6月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を確認する。	大月町保健師
7月	HUGゲーム(避難所運営ゲーム)	ゲームを通して避難所運営を考える訓練を行う。	大月町役場 危機管理課
8月	調理実習	高齢者の食事作りのポイントと工夫を学ぶ。	提供責任者
9月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応があわてず行える。	大月分署 救急救命士
10月	福祉の心について	福祉に対する理解と関心を深める。	宮地由衣子氏
11月	職業倫理と法令遵守	職業倫理と法令遵守についての理解を深める。	要請
12月	ヘルパー交流会	ヘルパー間でのコミュニケーションを図り、意見を出し合う。	提供責任者
1月	健康体操	腰痛を知り、ならない為の正しい介助方法や注意点を理解する。	要請
2月	感染症	インフルエンザやノロウイルス等感染症について理解する。	大月町保健師
3月	介護保険について	介護保険改正に伴い、仕組みについて理解する。	社協ケアマネ



平成 27 年度 事業計画

基本方針(目標)

ゆったりと入浴でき、清潔な身体で過ごすことができる。

訪問入浴介護の事業は、要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の援助を行う事によって、利用者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るものとする。且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

予防訪問入浴介護事業では、利用者の要支援状態の維持・改善を図り、要介護状態になることを予防する事を基本に、利用者の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を送れるよう支援します。

1. 秘密保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上

知り得た利用者及び契約者・その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

利用者の居宅に看護師 1 名、介護職員 2 名が浴槽を持参し、寝たままの状態の入浴をしていただきます。ケアマネジャーが提示するケアプランに基づき作成された介護計画書に基づき、看護師・ヘルパー 2 名が決められた日時に訪問し、入浴前体調確認(血圧・脈拍・体温等)を行い、入浴(洗髪含む)を実施します。また、入浴後の体調確認及び経過観察を行ないます。

3. 営業日と営業時間

- ・ 営業日は年中無休とします。ただし、12月31日～1月3日までを除くこととしますが、需要がある場合はこの限りではありません。
- ・ 営業時間は 8:00～18:00 までとしますが、特別の需要がある場合はこの限りではありません。尚、携帯電話にて 24 時間電話受付をいたします。

平成 27 年度 事業計画

基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気！！で  
一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当居宅介護事業所は介護サービス計画書により、利用者が可能な限り住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないように、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

居宅介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日：年中無休

サービス提供時間：午前 8 時～午後 6 時

※ 大月町保険介護課保健師の作成する居宅介護サービス計画により、サービス提供時間外においてもサービスを提供させていただきます。

※ 携帯電話にて、24 時間常時連絡が可能な体制としています。

3. 職員の職種、配置数

管理者：1 名

サービス提供責任者：4 名

パート訪問介護職員：25 名

4. 職員の研修

毎月 1 回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

## 平成 27 年度ヘルパー研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4月	介護職員の接遇について	接遇やマナーのレベルアップを図り、利用者や家族の満足度を高める。	提供責任者
5月	認知症について	認知症の知識と認知症のケアを正しく理解する。	要請
6月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を確認する。	大月町保健師
7月	避難所運営ゲーム	ゲームを通じて避難所運営を考える訓練を行う。	要請
8月	調理実習	高齢者の食事作りのポイントと工夫を学ぶ。	提供責任者
9月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応があわてず行える。	大月分署 救急救命士
10月	福祉の心について	福祉に対する理解と関心を深める。	要請
11月	職業倫理と法令遵守	職業倫理と法令遵守についての理解を深める。	要請
12月	ヘルパー交流会	ヘルパー間でのコミュニケーションを図り、意見を出し合う。	提供責任者
1月	健康体操	腰痛を知り、ならない為の正しい介助方法や注意点を理解する。	要請
2月	感染症	インフルエンザやノロウイルス等の感染症について理解する。	大月町保健師
3月	介護保険制度について	介護保険改正に伴い、しくみについて理解する。	社協ケアマネ

## 平成 27 年度 事業計画

### 事業目標

その人らしさを大切にしながら寄り添うことで、ご本人の意欲を引き出し最期まで良かったと思える生活を支援する。

- ① 利用者本人にかかわる家族、地域の方、サービス提供機関等全ての人との連携をとることで、その方を良く知りその人らしさを引き出せるよう人と人とのつながりを大切にかかわっていく。
- ② 施設ごとの違いや医療にかかわることなど苦手な分野を克服できるよう研修への参加や、視察等の機会をもつ。
- ③ 施設入所や看取り期などの対応を充実できるよう事前に本人や家族の希望を確認する。
- ④ 防災の知識を身につけ、状況に合わせた防災対策（家具の固定・避難所の確認など）についてアドバイスできるようになる。

## 平成27年度研修計画(大月町指定居宅介護支援事業所)

月日(第2木曜)	研修内容	備考
平成27年4月9日(木)	介護報酬改定について・介護支援専門員心得	困難事例の検討
平成27年5月7日(木)	施設訪問視察(介護の現状や工夫を観る)	地域ケア会議事例検討
平成27年6月11日(木)	感染予防・事故対応・防災について学ぶ	
平成27年7月9日(木)	日常生活自立支援事業・成年後見制度事業	
平成27年8月13日(木)	事故発生、プライバシー保護について	
平成27年9月10日(木)	救急法の確認及び実践	
平成27年10月9日(木)	高齢者虐待防止・身体拘束防止について	
平成27年11月12日(木)	接遇・法令遵守・倫理規定	
平成27年12月10日(木)	ヒヤリハット報告書、生活福祉資金について	困難事例の検討
平成28年1月14日(木)	相談苦情対応の研修	地域ケア会議事例検討
平成28年2月10日(水)	事業計画案、緊急時の対応連絡体制について	
平成28年3月10日(木)	より良い面接業務とは・次年度の研修計画	

平成 27 年度 事業計画

基本方針(目標)

障害者や障害児又はその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及びサービス利用などの相談・支援をさせていただきます。

1. 事業内容

相談者の地域の生活を支えるためのその人の生活全体を見通し、継続的な支援を実施していくことを援助方針とします。

- ・相談支援
- ・情報提供
- ・関係機関との連絡調整
- ・サービス利用計画作成の作成

2. 職員の職種、配置数

管理者：1名

相談支援専門員：1名

3. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

## 平成 27 年度ヘルパー研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4 月	介護職員の接遇について	接遇やマナーのレベルアップを図り、利用者や家族の満足度を高める。	提供責任者
5 月	認知症について	認知症の知識と認知症のケアを正しく理解する。	要請
6 月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を確認する。	大月町保健師
7 月	職業倫理と法令遵守	職業倫理と法令遵守についての理解を深める。	要請
8 月	調理実習	高齢者の食事作りのポイントと工夫を学ぶ。	提供責任者
9 月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応があわてず行える。	大月分署 救急救命士
11 月	介護技術	起き上がりや衣服の着脱、排泄、福祉用具の使い方などの介護技術を高める。	要請
12 月	ヘルパー交流会	ヘルパー間でのコミュニケーションを図り、意見を出し合う。	提供責任者
1 月	健康体操	腰痛を知り、ならない為の正しい介助方法や注意点を理解する。	要請
2 月	感染症	インフルエンザやノロウイルス等感染症について理解する。	大月町保健師
3 月	介護保険について	介護保険改正に伴い、仕組みについて理解する。	社協ケアマネ

## 平成27年度 通所介護(予防通所介護)事業計画書

### ディサービス「さんご」

#### (運営方針)

利用者の意志および人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立った援助の基本姿勢を忘れる事なく、コミュニケーションを密にし、利用者の個別のニーズを見逃さず対応できるなど、家族の方の介護負担の軽減や利用者の生活の質の向上に努力します。

- ① 利用回数については、居宅支援事業所が作成したケアプランに基づいた利用回数を原則とします。
- ② 他のサービス提供事業所と連絡を密にし、利用者個々のニーズに応じた対応を行います。
- ③ 苦情に関する窓口を設置し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を行います。
- ④ 利用者及び家族の了解を得て、主治医の方に意見をお尋ねすることがあります。
- ⑤ 職員は積極的に施設内外の研修に参加し、資質の向上に努めます。

#### (事業所の職員体制)

※平成27年4月現在

職 種	人 数	備 考
管理者	1	生活相談員兼務
生活相談員	1	管理者兼務
看護職員	1	機能訓練指導員と兼務
介護職員	5	(1名)生活相談員との兼務
機能訓練指導員	1	看護職員との兼務
調理員	1	介護職員との兼務
看護員 (パート)	1	看護との兼務(機能訓練指導員看護職との兼務)
介護員 (パート)	2	介護員
調理員 (パート)	1	介護職員との兼務
その他 (パート)	3	調理補助、介護職、調理員 (介護兼務)



(平成27年度) 重点目標

## 機能が維持でき意欲を引き出し安心して過ごせる

レクリエーションや機能訓練など「さんご」での一日の取り組みの中で、利用者一人一人、笑って過ごして頂き「安心して過ごし笑顔で今日もさんごは楽しかった」と感じて帰って頂きたい・・・

### 意欲を引き出し安心して過ごせる取り組み

平成27年度年間計画書		
	防災訓練 (10月・3月) 非常時災害訓練 (4月、8月、12月)	
	ぬり絵カレンダー作成	
	お誕生日写真 プレゼント	
	かご作り	
	封筒作り	
	シルバーボランティア(月2回) 入浴介助 (着脱、誘導)	
	作品を文化てんへ出品する	
	折鶴を広島に送る	
平成27年度毎月計画書		
4月	鯉のぼり作り	
5月	ゲームづくり	
6月		
7月	かご型小物入れづくり	牛乳パック 使用
8月		
9月	敬老会	ボランティア 訪問
10月	運動会	
11月	クリスマス飾り作り	
12月	正月飾りづくり他 つるし柿づくり	
1月	お雛様作成 干大根づくり	
2月	食材作り (旬のものを作る)	山菜 その他
3月		
その他	興味のあるものに挑戦して頂く	

(営業時間)

平日の 午前 9時30分 ~ 午後 3時30分まで

※日曜日・年末年始(12月30日から1月3日)は休業となります。

(利用定員)

20名(通所介護と介護予防通所介護を含めた人数)

(サービス内容)

～通所介護～

利用者の居宅(自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴、レクリエーション、機能訓練等により、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進、家族の方の介護負担の軽減を図るサービスです。

～介護予防通所介護～

①共通的服务

利用者が自立した生活を送っていただけるよう、居宅(自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴等の介助をさせていただき、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進を図るサービスです。

②集団的なレクリエーション、創作活動等による機能訓練を実施します。

(一日の流れ)

時間	通所介護	予防通所介護
	送迎(迎え)	
9:30	健康チェック(血圧測定、検温、体重測定)	
	軽体操・ウェイトトレーニング	
	レクリエーション	入浴
	入浴	レクリエーション
12:00	昼食	
13:00	集団レク	機能訓練
14:00	機能訓練	集団レク
	おやつ・休憩	
	談話・カラオケ	
15:30	送迎(送り)	

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

認知症対応型共同生活介護（含介護予防事業）

## グループホーム月のなごみ

### 平成 27 年度 事業計画

#### 1. 運営方針

グループホーム月のなごみでは、入居者“お一人おひとりが、これまでと変わらぬように”“自分らしく暮らせる環境づくり”をめざします。

家庭的な温かく笑顔の耐えない雰囲気づくり

お一人おひとりを大切に思うところ

同じ目線で対話し、ご本人の意向や思いをとらえる

職員に対しご本人やご家族が話かけやすい雰囲気づくり

秘密の保持について

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らす事がないよう、雇用契約において義務付けています。

#### 2. 目標

職員の出勤時、退社時、そして、ご家族やお客様をお迎えする時、帰られる時は、笑顔で挨拶をする。

御家族や地域住民との交流を密にし地域に根ざしたホームを目指します。

配置職員数：管理者 1名

計画作成者（非常勤）1名

介護職員10名（内パート職員4名）

社会福祉法人大月町社会福祉協議会  
認知症対応型共同生活介護（含介護予防事業）

グループホームのんびり館

平成 27 年度事業計画



### 1. 運営方針

グループホームのんびり館では、入居者が今もっている力を活かして楽しく暮らせる「ずっと住みたい家」を目指します。

- その人の思いを大切にする
- その人のいまある能力にあった支援をする能力に合った自立支援
- ご本人やご家族、地域の皆が楽しんで過ごせるホームづくり
- 一人にならない集える場所作り

### 2. 目標

- 利用者・ご家族に満足していただけるよう職員一人一人目標をもち、それを達成できるよう努力します。
- 毎月研修会を行い職員の資質向上に努めます。
- 利用者とのふれあいから本人の要望を聞き取りサービスに活かします。
- 職員間の情報交換を密にして一連したサービス提供を行います。

職員配置数：管理者 1 名・計画担当者 1 名・介護職員 10 名（うちパート 2 名）



# 有料老人ホーム高原の郷

## 平成 27 年度 事業計画

入居者様に3つの課題が実現される様に、全職員が協力し合い誰もが満足を得られるような施設になる様に努める。

《毎日の生活が楽しいこと》

《医療面での安心感が得られること》

《食事が美味しいこと》

お一人おひとりを大切に思うことを目指します。

同じ目線で対話し、物をとらえることを目指します。

ご本人もご家族も周りの皆が安心して暮らせるホームづくりを目指します。

《秘密の保持について》

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

### 1. 目標

温かく親しみがあり、かつ節度のある接遇マナーを基本に、職位に求められる基本的能力の底上げに努めます。

丁寧で迅速な対応をする為の義務手順や職員間の連携の強化に努めます。  
又、適宜の見直しを行います。

居室数 : 9 室

配置職員数 : 施設長《管理者》 1名(介護職員兼務)

介護職員 9名 (内パート職員6名)

栄養士 1名

# ほっとセンター 27年度事業計画

## <目 標>

- 生きがいを見出だす、ふれあいの場
- 世代を越えて絆づくり
- 地域住民のニーズに応える



## <<目的>>

大月町の住民が高齢者・障害者になっても、地域で元気に生き生きと暮らせるために「ほっとセンター」に集い、孤独感を味わうことのないような仲間づくりや放課後の児童・生徒の居場所づくり、外出支援、送迎サービス等フレキシブルに対応できる住民の憩いの拠点として、誰もが自由に、日中集い過ごせるサロンの場とする。

## <<事業内容>>

集い

赤ちゃんから高齢者、障害者を対象にしたサロン(週6回)

預かる

高齢者・障害者・児童生徒を対象に緊急時のニーズに対応(随時)

働く

障害者を対象に、就労支援も兼ねた農作業等(月1回)

送る

サロン利用者の送迎(随時)

交わる

利用者と地域住民との交流

学ぶ

利用者やボランティアを対象にしたミニ講座・研修会

訪問

独居高齢者や障害者の見守りや相談活動のために訪問する(週3回)  
(服薬確認や買物、ゴミ出し、安否確認など)

相談

要援護者やその家族、住民からの福祉サービスに関する事や日常生活での困りごとや気にかかる事などの相談に応じる(随時)

つなぎ

相談・訪問活動によって発見されたニーズや課題を市町村や包括支援センター、専門機関につなぎ、連携して必要な支援に取り組む(随時)

生活支

生活課題やニーズに応じた生活支援サービスの仕組みづくりやコーディネート、サービスの提供、地域での支え合いの仕組みづくり(随時)

移動手段の確

買物支援:原則、地区内に商店がない地区を対象 } (随時)  
通院支援:公共交通機関が無い地区を対象

配食

まんぷくバイキング(毎月第3水曜日)  
独居、食生活が充分でない方など対象

そのた

元気学校OB会(週1回)  
健康体操・口腔体操・レクリエーションなど実施

平成27年度 資金収支予算内訳表(法人拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳			
				法人運営事業 サービス区分	共同募金事業 サービス区分	受託事業サ- ビス区分	介護保険事業 サービス区分
事業収入							
寄附金収入	1	1	0	1	0	0	0
寄附金収入	1	1		1	0	0	0
經常経費補助金収入	12,986	13,466	480	12,436	1,030	0	0
町補助金収入	12,036	12,436	400	12,436	0	0	0
社協運営費補助金収入	12,036	12,436	400	12,436	0	0	0
共同募金配分金収入	950	1,030	80	0	1,030	0	0
一般募金配分金収入	950	1,030	80	0	1,030	0	0
受託金収入	27,666	30,957	3,291	240	0	30,717	0
県受託金収入	0	4,400	4,400	0	0	4,400	0
生活困窮者自立支援事業受託金収入		4,400	4,400	0	0	4,400	0
町受託金収入	27,149	26,081	▲1,068	240	0	25,841	0
生きがいと健康づくり推進事業受託金収入	300	300		0	0	300	0
配食サービス事業受託金収入	1,096	1,000	▲96	0	0	1,000	0
生活管理指導員派遣事業受託金収入	274	82	▲192	0	0	82	0
ほっとセンター事業受託金収入	5,589	10,300	4,711	0	0	10,300	0
運動器の機能向上事業受託金収入	220	240	20	240	0	0	0
共助の基盤づくり事業(基本)受託金収入	10,000	9,159	▲841	0	0	9,159	0
共助の基盤づくり事業(選択)受託金収入	9,670	5,000	▲4,670	0	0	5,000	0
県社協受託金収入	517	476	▲41	0	0	476	0
民生委員実費弁償費受託金収入	65	66	1	0	0	66	0
生活福祉資金貸付事業受託金収入	180	170	▲10	0	0	170	0
日常生活自立支援事業受託金収入	272	240	▲32	0	0	240	0
事業収入	1,308	1,240	▲68	0	0	1,240	0
利用料収入	1,308	1,240	▲68	0	0	1,240	0
介護保険事業収入	187,451	197,645	10,194	0	0	0	197,645
居宅介護料収入	104,648	106,685	2,037	0	0	0	106,685
(介護報酬収入)	89,746	86,112	▲3,634	0	0	0	86,112
介護報酬収入	71,829	69,012	▲2,817	0	0	0	69,012
介護予防報酬収入	17,917	17,100	▲817	0	0	0	17,100
(利用者負担金収入)	9,970	9,528	▲442	0	0	0	9,528
介護負担金収入(一般)	7,980	7,644	▲336	0	0	0	7,644
介護予防負担金収入(一般)	1,990	1,884	▲106	0	0	0	1,884
処遇改善交付金収入	4,932	11,045	6,113	0	0	0	11,045
地域密着型介護料収入	52,666	55,704	3,038	0	0	0	55,704
(介護報酬収入)	47,400	50,136	2,736	0	0	0	50,136
介護報酬収入	47,400	50,136	2,736	0	0	0	50,136
(利用者負担金収入)	5,266	5,568	302	0	0	0	5,568
介護負担金収入(一般)	5,266	5,568	302	0	0	0	5,568
居宅介護支援介護料収入	14,088	19,404	5,316	0	0	0	19,404
居宅介護支援介護料収入	14,088	19,404	5,316	0	0	0	19,404
利用者等利用料収入	16,049	15,852	▲197	0	0	0	15,852
地域密着型介護サービス利用料収入	6,930	6,930		0	0	0	6,930
食費収入(一般)	9,108	8,920	▲188	0	0	0	8,920
その他の利用料収入	11	2	▲9	0	0	0	2
障害福祉サービス事業等収入	3,360	4,111	751	0	0	0	4,111
自立支援給付費収入	3,360	4,111	751	0	0	0	4,111
介護給付費収入	3,360	3,667	307	0	0	0	3,667
サービス利用計画作成費収入		444	444	0	0	0	444
雑収入	814	796	▲18	36	0	23	737
雑収入	814	796	▲18	36	0	23	737
受取利息配当金収入	56	57	1	6	0	0	51
受取利息配当金収入	6	7	1	6	0	0	1
積立資産受取利息配当金収入	50	50		0	0	0	50
事業活動収入計(1)	233,642	248,273	14,631	12,719	1,030	31,980	202,544
支出							
人件費支出	166,723	174,913	8,190	20,587	0	23,683	130,643
役員報酬支出	1,648	1,672	24	1,672	0	0	0
職員給料支出	29,394	29,771	377	9,755	0	7,057	12,959
職員賞与支出	11,309	11,768	459	3,841	0	2,736	5,191
職員諸手当支出	2,788	2,417	▲371	896	0	300	1,221
非常勤職員給与支出	96,284	103,673	7,389	1,824	0	10,441	91,408
嘱託職員賃金	35,697	33,536	▲2,161	0	0	2,499	31,037
パート等職員賃金支出	23,564	25,528	1,964	0	0	0	25,528
臨時職員賃金支出	36,225	44,019	7,794	1,820	0	7,356	34,843
非常勤職員給与支出	798	590	▲208	4	0	586	0
その他の賃金支出	6,074	5,609	▲465	32	0	0	5,577
法定福利費支出	19,226	20,003	777	2,567	0	3,149	14,287

平成27年度 資金収支予算内訳表(法人拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳			
				法人運営事業 サービス区分	共同募金事業 サービス区分	受託事業サ- ビス区分	介護保険事業 サービス区分
事業費支出	38,124	35,948	▲ 2,176	944	1,030	7,008	26,966
諸謝金支出	376	349	▲ 27	216	0	121	12
弁護士謝金支出	134	180	46	180	0	0	0
講師謝礼金支出	130	163	33	30	0	121	12
諸謝金費支出	112	6	▲ 106	6	0	0	0
旅費交通費支出	830	763	▲ 67	120	0	58	585
役職員旅費支出	726	658	▲ 68	120	0	25	513
委員等旅費支出	104	105	1	0	0	33	72
消耗品費	3,302	3,133	▲ 169	38	0	520	2,575
消耗器具備品費支出	1,475	750	▲ 725	0	0	0	750
印刷製本費支出	1,449	1,186	▲ 263	0	0	204	982
水道光熱費支出	5,470	4,320	▲ 1,150	0	0	588	3,732
車輛費支出	1,866	1,803	▲ 63	0	0	320	1,483
燃料費支出	3,214	2,700	▲ 514	7	0	656	2,037
燃料費支出	55	69	14	0	0	0	69
車輛燃料費支出	3,159	2,631	▲ 528	7	0	656	1,968
修繕費支出	2,665	2,247	▲ 418	0	0	67	2,180
通信運搬費支出	2,023	2,199	176	197	0	531	1,471
委託費支出	321	322	1	0	0	0	322
保守料支出	380	404	24	0	0	0	404
手数料支出	569	618	49	0	0	0	618
保険料支出	1,030	1,291	261	0	0	123	1,168
貸借料支出	1,224	875	▲ 349	278	0	383	214
給食費支出	8,564	8,520	▲ 44	0	0	1,860	6,660
保健衛生費支出	245	348	103	0	0	0	348
租税公課支出	968	1,642	674	0	0	1,577	65
医薬品費支出	22		▲ 22	0	0	0	0
研修研究費支出	816	982	166	0	0	0	982
地域福祉等対策費支出	950	1,030	80	0	1,030	0	0
雑支出	365	466	101	88	0	0	378
事務費支出	3,993	4,854	861	2,026	0	1,592	1,236
福利厚生費支出	774	1,077	303	155	0	29	893
旅費交通費支出	426	354	▲ 72	312	0	42	0
事務消耗品費支出	200	381	181	112	0	269	0
器具什器費支出		256	256	0	0	256	0
印刷製本費支出	208	317	109	270	0	47	0
燃料費支出	227	170	▲ 57	50	0	120	0
通信運搬費支出	319	155	▲ 164	118	0	37	0
会議費支出	66		▲ 66	0	0	0	0
広報費支出	143	102	▲ 41	102	0	0	0
手数料支出	293	200	▲ 93	126	0	74	0
民生委員実費弁償費支出	65	66	1	0	0	66	0
手数料支出	228	134	▲ 94	126	0	8	0
保険料支出	70	116	46	86	0	30	0
貸借料支出	215	522	307	210	0	312	0
租税公課支出		326	326	0	0	326	0
渉外費支出	90	82	▲ 8	10	0	0	72
諸会費支出	361	394	33	123	0	0	271
委託費支出	230		▲ 230	0	0	0	0
保守料支出	172	159	▲ 13	159	0	0	0
車輛費支出	140	113	▲ 27	63	0	50	0
諸謝金費支出		54	54	54	0	0	0
雑支出	59	76	17	76	0	0	0
助成金支出	200	374	174	200	0	174	0
助成金支出	200	374	174	200	0	174	0
福祉推進校助成金支出	200	200	0	200	0	0	0
助成金支出		174	174	0	0	174	0
事業活動支出計(2)	209,040	216,089	7,049	23,757	1,030	32,457	158,845
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,602	32,184	7,582	▲ 11,038	0	▲ 477	43,699
施設整備等による収支							
収入							
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0
支出							
固定資産取得支出	850	5,406	4,556	120	0	0	5,286
車輛運搬具取得支出		5,000	5,000	0	0	0	5,000
器具及び備品取得支出	850	258	▲ 592	120	0	0	138
ソフトウェア取得支出		148	148	0	0	0	148
施設整備等支出計(5)	850	5,406	4,556	120	0	0	5,286
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 850	▲ 5,406	▲ 4,556	▲ 120	0	0	▲ 5,286



平成27年度 資金収支予算内訳表(法人拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会  
当初予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳			
				法人運営事業 サービス区分	共同募金事業 サービス区分	受託事業サ ビス区分	介護保険事業 サービス区分
大 中 小							
その入							
サービスの区 間繰入金収入	11,861	14,062	2,201	12,333	0	1,577	152
法人運営事業サ ービス区分間繰入金収入	68	70	2	0	0	0	70
受託事業サ ービス区分間繰入金収入	274	82	▲ 192	0	0	0	82
介護保険事業サ ービス区分間繰入金収入	11,519	13,910	2,391	12,333	0	1,577	0
その他の活動収入計(7)	11,861	14,062	2,201	12,333	0	1,577	152
支出							
積立資産支出	64,366	8,791	▲ 55,575	384	0	336	8,071
退職給付引当資産支出	3,259	3,129	▲ 130	383	0	336	2,410
人件費積立資産支出	40	20	▲ 20	0	0	0	20
福祉基金積立資産支出	1	1		1	0	0	0
経営安定化積立資産支出	61,066	5,641	▲ 55,425	0	0	0	5,641
事業区分間繰入金支出	13,587	16,301	2,714	0	0	0	16,301
公益事業区分間繰入金支出	13,587	16,301	2,714	0	0	0	16,301
サービス区分間繰入金支出	11,861	14,062	2,201	70	0	82	13,910
法人運営事業サ ービス区分間繰入金支出	10,586	12,333	1,747	0	0	0	12,333
受託事業サ ービス区分間繰入金支出	933	1,577	644	0	0	0	1,577
介護保険事業サ ービス区分間繰入金支出	342	152	▲ 190	70	0	82	0
その他の活動による支出	2,734	2,800	66	691	0	682	1,427
退職手当積立基金預け金支出	2,734	2,800	66	691	0	682	1,427
その他の活動支出計(8)	92,548	41,954	▲ 50,594	1,145	0	1,100	39,709
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 80,687	▲ 27,892	52,795	11,188	0	477	▲ 39,557
予備費支出(10)	7,414	8,317	903	30	0	0	8,287
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	▲ 64,349	▲ 9,431	54,918	0	0	0	▲ 9,431

前期末支払資金残高(12)	64,349	74,115	9,766	0	0	0	74,115
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	64,684	64,684	0	0	0	64,684

収入合計(A)=(1)+(4)+(7)+(12)	309,852	336,450	26,598	25,052	1,030	33,557	276,811
支出合計(B)=(2)+(5)+(8)+(10)	309,852	271,766	△ 38,086	25,052	1,030	33,557	212,127
差額(A)-(B)=(13)	0	64,684	64,684	0	0	0	64,684

平成27年度 資金収支予算内訳表(公益拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目				前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳
	大	中	小				有料老人ホーム 高原の郷サービス 区分
事業活動による収支	収入		老人福祉事業収入	6,561	6,726	165	6,726
			その他の事業収入	6,561	6,726	165	6,726
			管理費収入	3,316	3,316	0	3,316
			その他の利用料収入	3,245	3,410	165	3,410
			雑収入	133	168	35	168
			雑収入	133	168	35	168
			受取利息配当金収入	1	1	0	1
			受取利息配当金収入	1	1	0	1
			事業活動収入計(1)	6,695	6,895	200	6,895
	支出		人件費支出	15,768	18,820	3,052	18,820
			非常勤職員給与支出	13,898	16,439	2,541	16,439
			嘱託職員賃金	5,560	8,083	2,523	8,083
			パート等職員賃金支出	3,287	3,716	429	3,716
			臨時職員賃金支出	5,051	4,640	▲ 411	4,640
			その他の賃金支出		308	308	308
			法定福利費支出	1,870	2,073	203	2,073
			事業費支出	4,655	4,891	236	4,891
			旅費交通費支出	38	7	▲ 31	7
			役職員旅費支出	38	7	▲ 31	7
			消耗品費	186	336	150	336
			消耗器具備品費支出	248	246	▲ 2	246
			水道光熱費支出	1,548	1,056	▲ 492	1,056
			車輛費支出	52	140	88	140
			燃料費支出	62	78	16	78
			燃料費支出	31	27	▲ 4	27
			車輛燃料費支出	31	51	20	51
			修繕費支出	150	500	350	500
		通信運搬費支出	92	138	46	138	
		委託費支出	73	73	0	73	
		手数料支出	64	69	5	69	
		保険料支出	49	54	5	54	
		賃借料支出	6	6	0	6	
		給食費支出	1,920	2,040	120	2,040	
		保健衛生費支出	62	36	▲ 26	36	
		医薬品費支出	11	0	▲ 11	0	
		研修研究費支出	78	96	18	96	
		雑支出	16	16	0	16	
	事務費支出	101	110	9	110		
	福利厚生費支出	40	70	30	70		
	渉外費支出	30	30	0	30		
	諸会費支出	31	10	▲ 21	10		
	事業活動支出計(2)	20,524	23,821	3,297	23,821		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲ 13,829	▲ 16,926	▲ 3,097	▲ 16,926		

平成27年度 資金収支予算内訳表(公益拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目			前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳		
						有料老人ホーム 高原の郷サービス区分		
	大	中	小					
施設整備等による収支	収入							
		施設整備等収入計(4)			0	0	0	
	支出							
		施設整備等支出計(5)			0	0	0	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			0	0	0	
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入			13,587	16,301	2,714	16,301
		社会福祉事業事業区分間繰入金収入			13,587	16,301	2,714	16,301
		その他の活動収入計(7)			13,587	16,301	2,714	16,301
	支出	積立資産支出			510	600	90	600
		退職給付引当資産支出			510	600	90	600
		その他の活動支出計(8)			510	600	90	600
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			13,077	15,701	2,624	15,701	
	予備費支出(10)				0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)			▲ 752	▲ 1,225	▲ 473	▲ 1,225	

前期末支払資金残高(12)	752	1,225	473	1,225
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0

収入合計(A)=(1)+(4)+(7)+(12)	21,034	24,421	3,387	24,421
支出合計(B)=(2)+(5)+(8)+(10)	21,034	24,421	3,387	24,421
差額(A)-(B)=(13)	0	0	0	0